

### 第3回 玉名市まちなか未来デザイン協議会 議事録

#### (1) 協議会概要

|     |                                                |                             |          |
|-----|------------------------------------------------|-----------------------------|----------|
| 日時  | 令和8年3月26日(金) 13時30分～15時00分                     |                             |          |
| 場所  | 玉名市民会館会議棟 第1会議室                                |                             |          |
| 出席者 | 審議会委員                                          | 玉名市都市計画審議会                  |          |
|     |                                                | 熊本県立大学 教授                   | 柴田 祐     |
|     |                                                | 九州看護福祉大学 教授                 | 中野 聡太    |
|     |                                                | 熊本県県北広域本部玉名地域振興局土木部長        | (代理)木下 道 |
|     |                                                | 玉名警察署 交通課長                  | 上田 将義    |
|     |                                                | 一般社団法人 玉名青年会議所 理事長          | 塩山 治彦    |
|     |                                                | 玉名金融協会(肥後銀行玉名支店)会長          | (代理)小野 敬 |
|     |                                                | 一般社団法人 玉名観光協会 会長            | 丸山 晃範    |
|     |                                                | 九州旅客鉄道株式会社 熊本工務所 所長         | 赤池 士郎    |
|     |                                                | 産交バス株式会社 玉名営業所 副所長          | 福本 哲大    |
|     |                                                | 熊本県立 玉名高等学校・玉名高等学校附属中学校 副校長 | 豆塚 政彦    |
|     |                                                | 玉名町区長会 会長                   | 山口 軍治    |
|     |                                                | 社会福祉法人 玉名市社会福祉協議会 地域福祉課 課長  | 徳永 和一    |
|     |                                                | 玉名町支館 支館長                   | 松尾 孝幸    |
|     |                                                | 玉名市役所 建設部長                  | 二瀬 哲也    |
|     | 事務局等                                           | 幹事会                         |          |
|     |                                                | 管財課長                        | 神永 和典    |
|     |                                                | 地域振興課長                      | 小山 晃生    |
|     |                                                | 都市整備課長                      | 中川 英昭    |
|     |                                                | 事務局                         |          |
|     |                                                | 秘書課                         | 高本 康夫    |
|     |                                                | 企画経営課                       | 松本 雄介    |
|     |                                                |                             | 内田 圭祐    |
|     |                                                | 管財課                         | 上田 裕樹    |
|     |                                                | 都市整備課                       | 野中 武己    |
| 欠席者 | 玉名農業協同組合 代表理事組合長                               |                             | 久保 英広    |
|     | 玉名商工会議所 地域経済活性化委員会 委員長                         |                             | 深見 京司    |
|     | 有限会社高瀬合同タクシー 課長                                |                             | 徳永 浩久    |
|     | 学校法人 玉名白梅学園 玉名女子高等学校 校長                        |                             | 上妻 利博    |
|     | 玉名市女性人材リスト登録者                                  |                             | 石津 純子    |
|     | 玉名市まちなか魅力向上委員会                                 |                             | 村田 明彦    |
|     | 玉名市まちなか魅力向上委員会                                 |                             | 福富 雅仁    |
|     | 玉名市まちなか魅力向上委員会                                 |                             | 崎山 由美    |
| 傍聴者 |                                                |                             |          |
|     |                                                |                             |          |
|     |                                                |                             |          |
| 会次第 | 1 開 会                                          |                             |          |
|     | 2 会長挨拶                                         |                             |          |
|     | 3 議題                                           |                             |          |
|     | (1)「～玉名市まちなかグランドデザイン～まちなか未来図アクションプログラム(案)」について |                             |          |
|     | 4 報告                                           |                             |          |
|     | (1)玉名市都市・地域交通戦略推進事業の推進について                     |                             |          |
|     | (2)玉名市まちなか未来プロジェクト                             |                             |          |
|     | 賑わいのまちづくり地域交流活性化支援業務委託について                     |                             |          |
|     | 5 意見交換                                         |                             |          |
|     | 6 その他                                          |                             |          |
|     | 7 閉 会                                          |                             |          |

# 第3回玉名市まちなか未来デザイン協議会 議事録

## 1. 開会および挨拶・報告準備

- 開会・出席状況:

司会(都市整備課 野田)が開会を宣言。全委員 22 名のうち 13 名が出席（欠席 10 名、代理出席 2 名）し、半数以上の出席により会議の成立要件（協議会規則第 3 条第 2 項）を満たしていることが確認された。また、役職交代や異動に伴う新委員（青年会議所理事長の塩山氏、玉名警察署交通課長の上田氏）が紹介された。

- 会長挨拶・進行方針:

柴田祐会長（議長）が挨拶に立ち、前回の会議に引き続き「まちなかランドデザイン」のアクションプログラム案がまとまったため、本日はこれらを中心に活発な意見交換を行いたい旨を述べ、議事進行に移った。

## 2. 議題：「まちなか未来図アクションプログラム（案）」について

- 説明と関連施策の整理:

都市整備課（植田）よりプログラム案が説明された。中野委員（九州看護福祉大）より「中心施策と関連施策の関連性や整理方針」について質問があり、都市整備課（植田）は、5 回の合同会議から抽出された計 70 の関連施策（既存事業含む）からリーディングプロジェクト（3 つの重点プロジェクト）へ引き上がっていくイメージであり、今後は内容のバージョンアップや柔軟な修正・追加を行っていくと回答した。

- 市民への広報・周知方法:

中野委員から、市民や他団体が活動に参画しやすいような広報の働きかけについて問われ、都市整備課（植田）は電子媒体での一方的な発信だけでは伝わりにくいという教訓から、出前ワークショップのような顔を合わせる手法も含めて手に届きやすいやり方を検討中であるとした。

- 民間活用の柔軟性と前倒し:

丸山委員（玉名観光協会）より、令和 9 年度に民間事業者選定が予定されている「拠点整備プロジェクト（リーディングプロジェクト 1）」に関し、承認前に民間からのオファー受付や計画の前倒し変更が可能か質問があった。管財課（神永）は「基本構想の策定と並行して民間事業者とのサウンディング（対話）を柔軟に進める」と回答。都市整備課（植田）も、プログラムの変更はデザイン協議会を毎回開くのではなく、実行する中での事後報告という形をとり、トレンドを逃さない柔軟な運用を行うとした。柴田会長も「全体の方向性から大きく外れない限り、柔軟に対応すべき」と同意した。

- **中央病院跡地・旧庁舎跡地の利活用への高い関心:**

豆塚委員（玉名高校）より、中央病院跡地は学校と隣接しており地域や保護者も非常に関心が高い点、また令和8年度からのイベント等のトライアル利用について、現状の整地状況では開催が厳しいのではないかと懸念が示された。

管財課（神永・上田）は、現在は具体的な利活用想定は固まっておらず安全対策のフェンス設置に留まるが、高低差のある県道側の敷地など一部で利活用は可能であるとし、使用希望があれば管理元の管財課で受け付けると回答した。

柴田会長は、これらは市民へアピールしやすいシンボリックな場所であるため、早めの検討と、魅力向上委員会等と連携した積極的な社会実験（イベント等の仮利用）を進めるよう要望した。

- **専門用語の丁寧な解説:**

柴田会長より、市民向けの資料として「KPI（重要業績評価指標）」や「KGI（重要目標達成指標）」といった専門用語の記載は伝わりにくいため、一文追加するなどの丁寧な工夫を求められ、都市整備課（植田）は説明書きの追加を約束した。

### 3. 報告 1：玉名市都市・地域交通戦略推進事業の進捗について

- **説明:**

都市整備課（安田）より、まちなかの交通を全体的に捉えるための検討状況（途中経過）が報告された。

- **データ単位の明確化と駅前広場の検討:**

柴田会長より、示された駅前交通量調査データの単位について確認があり、都市整備課（安田）は朝のピーク時に通過する自動車（送迎等）を「台」、駅利用者を「人」として資料へ明記すると回答した。この調査データを踏まえつつ、駅前広場の具体的な整備や機能配置を来年度も引き続き検討・報告していくとした。

### 4. 報告 2：玉名市まちなか未来プロジェクト 賑わいのまちづくり地域交流活性化支援事業委託について

- **実績報告:**

都市整備課（森田）より、中学生が自発的に DIY ワークショップに参加した事例などが動画を交えて報告された。

- **人流計測データの活用:**

中野委員より、プロジェクトの成果指標となる「人流計測」のコストや導入について質問があ

り、都市整備課（森田）は「精度によるが経費は相応にかかる」としつつ、駅前にベンチ等を設置した社会実験では、それまで2分以内だった駅の通り抜け時間が30分程度の滞留へ延びた明確なデータが確認できたと報告した。民間団体が計測を行う際などは、行政側で業者紹介等の相談に乗るとした。

- **蛇ヶ谷公園のトイレ洋式化（DIY 成果）：**

中野委員から、九看大の新入生のホームルーム時間を活用し、魅力向上委員会と連携して蛇ヶ谷公園でのまちづくりコラボレーションを行いたいとの提案があり、行政側も双方向の提案を歓迎した。これに関連して松尾委員より「蛇ヶ谷公園のトイレを洋式化してほしい」との要望が出され、都市整備課の（中川）は、すでに管理棟側は今年度のDIYワークショップで洋式化を完了しており、西側のトイレについても令和8年度に改修・洋式化を行う予定であると回答した。

## 5. 防災・安全安心に関する意見交換

- **3D 都市モデルの紹介：**

都市整備課（安田）より、今年度開発した「3D 都市モデル（スマート防災ポータル、3D 防災マップ）」が紹介され、市民への危機意識の醸成や自分事化に役立ててほしいと説明された。

- **自主防災組織と避難所の課題：**

山口委員（玉名町区長協議会）より、昨年8月豪雨を踏まえ、行政区ベースでの自主防災組織の結成率（現状約7割）の向上や、徒歩圏内の身近な避難所の周知不足が指摘された。

松尾委員からも、8月豪雨の際に自宅周辺が初めて浸水し、近くの一次避難所（文化センターや桃田）が満員だったため、和室などの設備が整った岱明の防災センターへ避難したという実体験が語られ、旧庁舎の建て替え等を含めて避難収容機能の早期強化が要望された。

建設部長（二瀬）は、一次避難所の混雑時には速やかに二次避難所を開設する流れになっており、情報はNHKや市ホームページで随時発信していると説明。都市整備課（植田・安田）からも、市HPのハザードマップやスマート防災ポータルで避難所の混み具合がリアルタイムで確認できること、水害体験VRの貸し出しを行っていることが紹介された。

柴田会長は「楽しそうな賑わいだけでなく、防災や安全安心の基盤があってこそそのプロジェクトである」と強調。中央病院や庁舎の跡地検討においても避難機能の確保を視野に入れつつ、普段の利用とのバランスを考慮した空間づくりが重要であると総括した。

## 6. 今後の展開と閉会

- **公民連携の拡張と事業者への呼びかけ：**

都市整備課（植田）より、アクションプログラムは本日の意見を踏まえて3月末に策定、4月

1 日に市 HP へ公表する予定であることが報告された。また、計 70 の関連事業にはまだ民間事業者の参画や意見が少ないため、玉名のまちづくりを推進するために各種団体の事業者からも積極的な相談や協力を強く呼びかけた。

- **青年会議所の取り組み:**

新委員の塩山氏より、市と協力して縮小していく、まちの中で「備品の貸し出し」により賑わいを持たせる事業を計画中であり、10 月頃まで実施したのちに報告する予定であると共有された。

- **閉会:**

柴田会長が「来年からの実行が重要である」として意見の反映を要請し、謝辞を述べて進行を事務局へ戻した。これを受けて司会（都市整備課 野田）が長時間の審議に対する感謝を述べ、閉会を宣言した。